

第4章

中間評価の結果

1. 分野別の取り組みと目標値達成状況

(1) 栄養・食生活

これまでの取り組み

- 母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談などを通じて、妊娠期の食事、離乳食や幼児食に関する講座・相談・情報提供を実施しました。
- 適正食量や栄養バランスなど食の正しい知識の普及と、子どもを通じて家庭で生活習慣病予防を考える機会となるような親子参加型事業ファミリー栄養教室を開催しました。
- 生活習慣病およびメタボリックシンドロームの予防改善事業の講演会や出前健康講座、個別相談・指導を実施しました。
- 西宮いずみ会、健康づくり推進員、食育学生ボランティアなど、地域で食育活動を担う人材の育成・支援を行いました。

目標値達成状況 目標値の達成は「なし」

策定時から改善した項目(A)は1項目で「食育・健康づくり応援団の増加」となっています。変化なしの項目(B)は9項目、悪化した項目は1項目で「小学生肥満」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23年度 | H28年度 | | 策定時 との比較 | H34年度 目標値 | | 達成 状況 |
|--|--------------------------|------------------|----------|-------------|--------------|----|----------|
| | | 数値 | 出典 | | | | |
| 適正体重を維持している人の割合★ (肥満(BMI25.0以上) やせ(BMI18.5未満)) | 肥満(20~39歳)男性 | 22.1% | 17.5% ※1 | B | 15.0% | 以下 | △ |
| | 肥満(40~59歳)女性 | 10.5% | 12.0% ※1 | B | 5.0% | 以下 | △ |
| | やせ(20代)女性 | 13.3% | 19.5% ※1 | B | 5.0% | 以下 | △ |
| | 4・5歳児肥満 | 1.5% | 1.6% ※2 | B | 1.1% | 以下 | △ |
| | 小学生肥満 | 4.3% | 5.6% ※2 | C | 1.0% | 以下 | △ |
| 朝食を食べる人の増加 | 男性 | 83.3% (H24年度) | 82.2% ※3 | B | 85.0% | 以上 | △ |
| | 女性 | 91.2% (H24年度) | 88.1% ※3 | B | 97.0% | 以上 | △ |
| バランスのとれた食事をする人の増加 | 61.3% | 64.9% ※1 | B | 80.0% | 以上 | △ | |
| 薄味の物を食べる人の増加 | 50.6% | 52.7% ※1 | B | 65.0% | 以上 | △ | |
| 栄養成分表示を参考にする人の増加 | 56.2% (H24年度) | 53.7% ※3 | B | 75.0% | 以上 | △ | |
| 食育・健康づくり応援団の増加 | 16店 | 163店 ※4 | A | 500店 | 以上 | △ | |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】※1：H28 市民健康アンケート ※2：H28 幼児・学童における身体状況調査 ※3：H28 食に関するアンケート調査 ※4：H28 保健事業の実績

【策定時との比較】策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」「C：悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】達成状況は有意差検定を実施し(有意水準5%)、その結果に基づき、「◎：目標値を達成した項目」「○：目標値を概ね達成した項目(数値は達成しているが有意ではない)」「△：目標値を達成していない項目」と評価

(2) 身体活動・運動

これまでの取り組み

- 健康ウォーキングマップの普及や健康づくり推進員の養成・活動の一貫として運動に関する催しが企画され、運動に取り組む機会を多くの人に提供しました。
- 市内全 40 小学校区に地域スポーツクラブ「スポーツクラブ」を設置し、各クラブで多世代が参加できる様々な種目の実施や地区運動会、各種スポーツイベントが開催されました。
- 地域介護予防活動支援事業として、高齢者の筋力アップを目的とした「西宮いきいき体操」に取り組むグループの立ち上げと活動を支援しました。

目標値達成状況 目標値の概ね達成は 1 項目

策定時から改善した項目 (A) は 3 項目で「一日の歩行時間が 40 分 (4,000 歩) 未満の人の減少」「一日の歩行時間の増加 (70 歳以上：女性、70 歳以上：男性)」となっています。
変化なしの項目 (B) は 6 項目、悪化した項目 (C) は「なし」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23 年度 | H28 年度 | | 策定時 との比較 | H34 年度 目標値 | | 達成 状況 |
|---|---------------------------|--------|--------|-------------|---------------|----------|----------|
| | | 数値 | 出典 | | | | |
| 一日の歩行時間が 40 分 (4,000 歩) 未満の 人の減少 | 20 歳以上 | 50.8% | 45.8% | ※1 | A | 40.0% 以下 | △ |
| 一日の歩行時間の増加★ | 20 歳以上：男性 | 54.7 分 | 55.6 分 | ※1 | B | 70 分 以上 | △ |
| | 20 歳以上：女性 | 46.6 分 | 48.2 分 | ※1 | B | 60 分 以上 | △ |
| | 70 歳以上：男性 | 44.2 分 | 49.4 分 | ※1 | A | 50 分 以上 | △ |
| | 70 歳以上：女性 | 32.6 分 | 41.8 分 | ※1 | A | 37 分 以上 | ○ |
| 運動を定期的に行う人の増 加 (1 回 30 分以上かつ週 2 回以上かつ 1 年間以上) | 20 歳以上：男性 | 48.3% | 45.8% | ※1 | B | 50.0% 以上 | △ |
| | 20 歳以上：女性 | 39.4% | 40.4% | ※1 | B | 40.0% 以上 | △ |
| 地域活動等に参加する人の 増加 | 60 歳以上：男性 | 48.3% | 48.2% | ※1 | B | 60.0% 以上 | △ |
| | 60 歳以上：女性 | 55.3% | 53.8% | ※1 | B | 60.0% 以上 | △ |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】※1：H28 市民健康アンケート

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」「C：悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し (有意水準 5%)、その結果に基づき、「◎：目標値を達成した項目」

「○：目標値を概ね達成した項目 (数値は達成しているが有意ではない)」「△：目標値を達成していない項目」と評価

(3) こころの健康

これまでの取り組み

- ストレスとこころの健康に関する講座を通して、自身のストレス状態の把握やストレスに対する対処方法などの普及啓発を実施しました。
- 電話面接等の健康相談により、相談窓口、専門医療機関等に関する情報を提供しました。
- 自殺対策として、ゲートキーパー養成研修を行い、自殺の現状やゲートキーパーとしての適切な対応についての普及啓発を行いました。
- 悩みのある方が多く訪問する場所のひとつであるハローワーク西宮で、兵庫県司法書士会、兵庫県社会保険労務士会等の協力を得て、毎年1回総合相談会「暮らしとこころのなんでも相談会」を開催しました。
- 自殺対策に関するネットワーク体制を充実させ、地域および庁内関係機関との連携強化を図りました。

目標値達成状況 目標値の達成項目は「なし」

策定時から改善した項目(A)は1項目で「自殺者の減少」となっています。変化なしの項目(B)は3項目、悪化した項目(C)は1項目で「不眠を感じる人がよくある人の減少」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23年度 | H28年度 | | 策定時 との比較 | H34年度 目標値 | | 達成 状況 | |
|------------------|--------------------------|-------|-------|-------------|--------------|-------|----------|---|
| | | 数値 | 出典 | | | | | |
| 自殺者の減少★ | 90人 | 70人 | ※1 | A | 50人 | 以下 | △ | |
| ストレスを感じている人の減少 | 全体 | 57.5% | 59.9% | ※2 | B | 50.0% | 以下 | △ |
| | 男性 | 51.5% | 54.0% | ※2 | B | 43.0% | 以下 | △ |
| | 女性 | 62.9% | 64.3% | ※2 | B | 54.0% | 以下 | △ |
| 不眠を感じる人がよくある人の減少 | 9.5% | 12.1% | ※2 | C | 9.0% | 以下 | △ | |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】

※1: H27 人口動態統計

※2: H28 市民健康アンケート

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A: 改善している」「B: 変化なし」「C: 悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し(有意水準5%)、その結果に基づき、「◎: 目標値を達成した項目」

「○: 目標値を概ね達成した項目(数値は達成しているが有意ではない)」「△: 目標値を達成していない項目」と評価

(4) タバコ

これまでの取り組み

- ・ 禁煙希望者に対し、育児セミナー併設禁煙相談や特定保健指導での禁煙指導の実施、禁煙治療のできる医療機関の情報提供を行いました。
- ・ タバコおよび受動喫煙の健康への悪影響について、市ホームページ、COPD 講演会、母子健康手帳交付時の面接、乳幼児健診等で普及啓発を行いました。
- ・ 未成年者の喫煙をなくす取り組みとして、出前健康講座等でタバコの健康への悪影響について普及啓発を行い、またその一環で教育委員会と連携した薬物乱用防止教室を実施しました。
- ・ 受動喫煙防止の推進（スモークフリーにしのみや）の取り組みとして、完全禁煙の飲食店、民間施設を「空気もおいしい店」として認定し、ステッカーを送付しました。また、市内の施設、公共空間等で受動喫煙被害の苦情等があった場合に、施設指導を実施しました。

目標値達成状況 目標値の達成は 1 項目／目標値の概ね達成は 1 項目

策定時から改善した項目（A）は 4 項目で「喫煙率の減少（男性、女性）」「喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加（肺がん）」「完全禁煙の飲食店等の増加」、変化なしの項目（B）は 22 項目となっています。

一方、悪化した項目（C）は 6 項目で「喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加（COPD、心臓病、胃潰瘍）」「受動喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加（肺がん、心臓病、妊婦への影響）」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23 年度 | H28 年度 | | 策定時 との比較 | H34 年度 目標値 | | 達成 状況 | |
|-----------------------------|---------------------------|--------|-------|-------------|---------------|--------|----------|---|
| | | 数値 | 出典 | | | | | |
| 喫煙率の減少★ | 男性 | 22.3% | 15.8% | ※1 | A | 10.0% | 以下 | △ |
| | 女性 | 8.3% | 4.5% | ※1 | A | 5.0% | 以下 | ○ |
| 禁煙希望者の増加 | 男性 | 28.9% | 28.2% | ※1 | B | 90.0% | 以上 | △ |
| | 女性 | 32.8% | 28.6% | ※1 | B | 90.0% | 以上 | △ |
| 喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加★ | 肺がん | 85.8% | 89.1% | ※1 | A | 100.0% | | △ |
| | ぜん息 | 64.0% | 65.0% | ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | 気管支炎 | 66.0% | 67.9% | ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | COPD (慢性閉塞性肺疾患) | 58.3% | 53.8% | ※1 | C | 100.0% | | △ |
| | 心臓病 | 53.9% | 49.6% | ※1 | C | 100.0% | | △ |
| | 脳卒中 | 57.6% | 53.7% | ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | 胃潰瘍 | 38.0% | 31.7% | ※1 | C | 100.0% | | △ |
| | 妊婦への影響 | 80.2% | 76.9% | ※1 | B | 100.0% | | △ |
| 歯周病 | 46.3% | 43.2% | ※1 | B | 100.0% | | △ | |

| 指標 | 策定時 (ペ-スライ) H23 年度 | H28 年度 | | 策定時 との比較 | H34 年度 目標値 | | 達成 状況 |
|--|--------------------------|--------------------|--------|-------------|---------------|--------|----------|
| | | 数値 | 出典 | | | | |
| 受動喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加★ | 肺がん | 79.4% | 75.8% | ※1 | C | 100.0% | △ |
| | ぜん息 | 62.8% | 59.2% | ※1 | B | 100.0% | △ |
| | 心臓病 | 45.2% | 39.3% | ※1 | C | 100.0% | △ |
| | 妊婦への影響 | 75.8% | 70.4% | ※1 | C | 100.0% | △ |
| | 文化施設 | 94.4% | 94.7% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 飲食店 | 50.0% | 62.5% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| 飲食店、公共施設、家庭、職場で効果的な受動喫煙防止対策を実施している箇所の増加 (敷地内禁煙 建物内禁煙) | 公共施設 | 96.5% (H24 年度) | 96.6% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 教育機関(市立) | 100.0% (H24 年度) | 100.0% | ※2 | B | 100.0% | ◎ |
| | 教育機関(私立) | 95.2% (H24 年度) | 96.0% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 病院・診療所 | 96.8% (H24 年度) | 96.9% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 歯科診療所 | 96.8% (H24 年度) | 95.2% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 薬局 | 96.4% (H24 年度) | 96.7% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 事務所 | 42.9% (H24 年度) | 44.0% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 運動施設 | 86.4% (H24 年度) | 89.5% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 文化施設 | 94.4% (H24 年度) | 94.7% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| | 飲食店 | 50.0% (H24 年度) | 62.5% | ※2 | B | 100.0% | △ |
| 歩きながらタバコを吸わない人の増加 | 58.0% | 57.3% | ※1 | B | 100.0% | △ | |
| 妊婦・乳児・子どもの近くではタバコを吸わない人の増加 | 86.2% | 79.6% | ※1 | B | 100.0% | △ | |
| 妊娠中の喫煙者の減少 | — | 1.4% | ※3 | — | 0.0% | △ | |
| 完全禁煙の飲食店等の増加★ | 42 店 | 106 店 | ※4 | A | 500 店 | △ | |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】

※1：H28 市民健康アンケート

※2：H28 受動喫煙防止対策実施状況調査

※3：H28 「健やか親子21（第2次）乳幼児健康診査の必須問診項目」

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」「C：悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し（有意水準 5%）、その結果に基づき、「◎：目標値を達成した項目」

「○：目標値を概ね達成した項目（数値は達成しているが有意ではない）」「△：目標値を達成していない項目」と評価

(5) アルコール

これまでの取り組み

アルコール関連問題に関する講演会、出前健康講座にて、飲酒が健康に及ぼす影響・適量飲酒について普及啓発を行いました。

- ・ 特定保健指導において、飲酒習慣スクリーニングテスト（AUDIT）を用いて適量飲酒の確認、指導を実施しました。
- ・ 妊産婦や女性に対し、育児セミナーやマザークラス等を通じて飲酒が健康や胎児、授乳中の乳児に及ぼす影響、適量飲酒に関して普及啓発を行いました。
- ・ 未成年者の飲酒が健康に及ぼす影響について児童とその親へ啓発を行うため、公立小学校6年生の生徒に学校を通じてリーフレットを配布しました。

目標値達成状況 目標値の概ね達成は1項目

策定時から改善した項目（A）は「なし」、変化なしの項目（B）は10項目、悪化した項目（C）は1項目で「未成年者の飲酒が身体・精神発育に与える影響について十分な知識を持つ人の増加」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23年度 | H28年度 | | 策定時 との比較 | H34年度 目標値 | | 達成 状況 |
|---|--------------------------|-------|----------|-------------|--------------|----|----------|
| | | 数値 | 出典 | | | | |
| 飲酒する人のうち適量飲酒 (1日純アルコール20g未満) をしている人の増加★ | 男性 | 32.0% | 35.3% ※1 | B | 36.0% | 以上 | △ |
| | 女性 | 55.2% | 52.0% ※1 | B | 65.0% | 以上 | △ |
| 飲酒が及ぼす健康影響について 十分な知識を持つ人の増加 ★ | 妊婦の飲酒 | 80.8% | 80.8% ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | 授乳中の飲酒 | 82.1% | 80.3% ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | 内服中の飲酒 | 51.2% | 48.6% ※1 | B | 100.0% | | △ |
| | 入浴前の飲酒 | 54.3% | 53.2% ※1 | B | 100.0% | | △ |
| 多量飲酒者の減少 | 男性 | 5.1% | 4.7% ※1 | B | 3.2% | 以下 | △ |
| | 女性 | 0.7% | 0.5% ※1 | B | 0.2% | 以下 | △ |
| 週5日以上アルコールを飲む 人の減少 | 男性 | 41.1% | 38.7% ※1 | B | 40.0% | 以下 | ○ |
| | 女性 | 13.7% | 12.6% ※1 | B | 5.0% | 以下 | △ |
| 未成年者の飲酒が身体・精神発育に与える 影響について十分な知識を持つ人の増加 | | 78.3% | 72.9% ※1 | C | 100.0% | | △ |
| 妊娠中の飲酒者の減少 | | — | 1.1% ※2 | — | 0.0% | | △ |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】

※1：H28 市民健康アンケート ※2：H28 「健やか親子21（第2次）乳幼児健康診査の必須問診項目」

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」「C：悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し（有意水準5%）、その結果に基づき、「○：目標値を達成した項目」

「△：目標値を概ね達成した項目（数値は達成しているが有意ではない）」「△：目標値を達成していない項目」と評価

(6) 歯・口腔の健康

これまでの取り組み

- ・ 乳幼児健康診査、出前健康講座等で、う歯（むし歯）に関する正しい知識を普及し、健康診査後のフォロー者に歯の教室等への参加やかかりつけ医の受診を促しました。また、歯の教室等でフッ化物塗布を実施しました。
- ・ 保育所や幼稚園、学校、事業者等と連携し、う歯予防、歯と口腔の健康に関する健康教育や情報提供を行いました。
- ・ 歯周疾患検診や長寿歯科健診、妊婦歯科検診等で「8020」の普及啓発を行いました。^{ハチマルニイマル}
- ・ 噛むことの大切さ（噛ミング30）^{サンマル}についてチラシを作成し、健康フェアや食育フェスタ、歯の教室、出前健康講座等で普及啓発を行いました。

目標値達成状況 目標値の達成は3項目/目標値の概ね達成は1項目

策定時から改善した項目（A）は11項目で「3歳児でう歯のない児の増加」「12歳児の平均う歯数の減少」「12歳児でう歯のない児の増加」「年に1回以上、歯の定期健（検）診に行く人の増加」「定期的な歯石除去や歯面清掃に行く人の増加」「専門家による歯磨き指導を受ける人の増加」「清掃補助用具を使用する人の増加」「歯や口腔に悩みを持っている人の減少」「8020目標達成者の増加（40歳・60歳）」となっています。

変化なしの項目（B）は6項目、悪化した項目（C）は「なし」となっています。

| 指標 | 策定時 (ベースライン) H23年度 | H28年度 | | 策定時 との比較 | H34年度 目標値 | | 達成 状況 | |
|---------------------------|--------------------------|-------|-------|-------------|--------------|-------|----------|---|
| | | 数値 | 出典 | | | | | |
| 3歳児でう歯のない児の増加 | 85.8% | 88.2% | ※1 | A | 93.0% | 以上 | △ | |
| 3歳児でフッ化物塗布をしたことがある児の増加 | 48.8% | 59.2% | ※1 | B | 70.0% | 以上 | △ | |
| 12歳児の平均う歯数の減少 | 0.9本 | 0.3本 | ※2 | A | 0.5本 | 以下 | ◎ | |
| 12歳児でう歯のない児の増加 | 61.1% | 69.0% | ※2 | A | 70.0% | 以上 | △ | |
| 年に1回以上、歯の定期健(検)診に行く人の増加★ | 44.1% | 49.7% | ※3 | A | 60.0% | 以上 | △ | |
| 定期的な歯石除去や歯面清掃に行く人の増加 | 年2回 | 23.8% | 35.5% | ※3 | A | 35.0% | 以上 | ○ |
| | 年1回 | 41.5% | 49.0% | ※3 | A | 50.0% | 以上 | △ |
| 専門家による歯磨き指導を受ける人の増加 | 27.5% | 35.5% | ※3 | A | 50.0% | 以上 | △ | |
| 清掃補助用具を使用する人の増加 | 38.7% | 45.7% | ※3 | A | 50.0% | 以上 | △ | |
| かかりつけ歯科医のいる人の増加 | 59.1% | 59.7% | ※3 | B | 76.0% | 以上 | △ | |
| 歯や口腔に悩みを持っている人の減少 | 72.5% | 68.4% | ※3 | A | 56.0% | 以下 | △ | |
| 喫煙と口腔との関係について正しい知識を持つ人の増加 | 46.3% | 43.2% | ※3 | B | 100.0% | | △ | |

| 指標 | | 策定時 (ベースライン) H23年度 | H28年度 | | 策定時 との比較 | H34年度 目標値 | | 達成 状況 |
|---|-----|--------------------------|-------|----|-------------|--------------|----|----------|
| | | | 数値 | 出典 | | | | |
| 8020 目標達成者の増加 〔40歳で27歯以上 60歳で24歯以上〕 | 40歳 | 88.9% | 97.0% | ※4 | A | 92.0% | 以上 | ◎ |
| | 60歳 | 86.4% | 93.4% | ※4 | A | 90.0% | 以上 | ◎ |
| 進行した歯周疾患を有する人 の減少★ | 40歳 | 44.4% | 43.2% | ※4 | B | 25.0% | 以下 | △ |
| | 60歳 | 59.7% | 54.5% | ※4 | B | 45.0% | 以下 | △ |
| 噛む回数が1口10回未満の人の減少★ | | 31.0% | 30.5% | ※3 | B | 15.5% | 以下 | △ |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】

※1：H28 3歳児健康診査

※2：H28 学校保健統計

※3：H28 市民健康アンケート

※4：H28 歯周疾患検診

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し（有意水準5%）、その結果に基づき、「◎：目標値を達成した項目」

「○：目標値を概ね達成した項目（数値は達成しているが有意ではない）」「△：目標値を達成していない項目」と評価

(7) 健康診査と健康管理

これまでの取り組み

- ・ 「けんしんのご案内」の全戸配布を実施するとともに、各種講座、乳幼児健診等でもリーフレットを配布しました。
- ・ 特定健診未受診者へのコールセンターからの受診勧奨、アンケート結果分析に基づく医療機関でのポスター掲示による通院者に向けた受診勧奨、封書よりも効果の高い圧着ハガキによる案内通知などの受診勧奨を実施しました。
- ・ 山口地区での巡回健（検）診の日曜開催の増加、山口地区、塩瀬地区の女性がん検診の委託医療機関を隣接市（神戸市北区・宝塚市）に拡充する等、健（検）診を受けやすい体制づくりを進めました。
- ・ 健診結果から糖尿病予備群を対象に「糖尿病予防講演会」を開催し、案内通知と併せて情報提供を行いました。
- ・ 特定健診・人間ドック受診者のうち、生活習慣の改善が必要な非肥満の方へ保健指導を実施しました。
- ・ 女性のための検診受診者等に対し、乳がん自己検診法の普及および女性特有の健康課題について健康教育・健康相談を行いました。

目標値達成状況 目標値の達成は1項目

策定時から改善した項目（A）は6項目で「メタボリックシンドローム該当者の減少」「西宮市国民健康保険特定健康診査受診率の向上」「西宮市国民健康保険特定保健指導を受ける人の増加（実施率）」「がん検診の受診率の向上（肺がん）」「肝炎ウイルス検診を受けた人の割合の増加」「要支援・要介護へ移行する人の減少（要介護認定率）」、変化なしの項目（B）は3項目となっています。

一方、悪化した項目（C）は9項目で「肥満者（BMI 25以上）の減少」「メタボリックシンドローム予備群の減少」「糖尿病予備群の減少」「糖尿病有病者の減少」「高血圧症有病者の減少」「がん検診の受診率の向上（大腸がん、子宮頸がん）」「骨粗しょう症検診の受診率の向上」「女性特有の健康講座の参加者の増加」となっています。

| 指標 | 策定時 (ペーライン) H23 年度 | H28 年度 | | 策定時 との比較 | H34 年度 目標値 | | 達成 状況 | |
|----------------------------------|--------------------------|--------|-------------------|-------------|-----------------------------|-------------------|----------|---|
| | | 数値 | 出典 | | | | | |
| 肥満者（BMI 25 以上）の減少 | 17.2% (H22 年度) | 20.9% | ※1 | C | 12.6% | 以下 | △ | |
| メタボリックシンドローム予備群の減少 | 10.1% (H22 年度) | 12.2% | ※1 | C | H20 年度比 25%減 (H29 年度) | | - | |
| メタボリックシンドローム該当者の減少 | 14.8% (H22 年度) | 10.1% | ※1 | A | H20 年度比 25%減 (H29 年度) | | - | |
| 糖尿病予備群の減少★ | 16.6% (H22 年度) | 19.2% | ※1 | C | 7.0% | 以下 | △ | |
| 糖尿病有病者の減少★ | 11.1% (H22 年度) | 12.4% | ※1 | C | 9.3% | 以下 | △ | |
| 高血圧症有病者の減少★ | 54.2% (H22 年度) | 55.1% | ※1 | C | 48.0% | 以下 | △ | |
| 脂質異常症有病者の減少★ | 75.3% (H22 年度) | 75.7% | ※1 | B | 54.9% | 以下 | △ | |
| 西宮市国民健康保険特定健康診査受診率 の向上 | 31.9% | 35.2% | ※2 | A | 60.0% (H29 年度) | 以上 | - | |
| 西宮市国民健康保険特定保健指導を 受ける人の増加（実施率） | 40.1% | 43.9% | ※2 | A | 60.0% (H29 年度) | 以上 | - | |
| がん検診の受診率の向上 ★ | 胃がん | 3.7% | 3.6% | ※3 | B | 10.0% | 以上 | △ |
| | 肺がん | 4.0% | 4.6% | ※3 | A | 15.0% | 以上 | △ |
| | 大腸がん | 10.3% | 8.1% | ※3 | C | 20.0% | 以上 | △ |
| | 乳がん | 16.4% | 16.6% | ※3 | B | 30.0% | 以上 | △ |
| | 子宮頸がん | 14.6% | 13.8% | ※3 | C | 30.0% | 以上 | △ |
| 肝炎ウイルス検診を受けた人の割合の増 加 | 18.1% | 27.5% | ※3 | A | 35% | 以上 | △ | |
| 骨粗しょう症検診の受診 率の向上 | 女性 | 1.7% | 1.6% | ※3 | C | 3.0% | 以上 | △ |
| 骨粗しょう症検診結果におけ る要指導・要医療者の減少 | 女性 | 28.5% | 66.5% | ※3 | - | 25.0% | 以下 | - |
| 女性特有の健康講座の参 加者の増加 | 女性 | 260 人 | 74 人 | ※4 | C | 460 人 | 以上 | △ |
| 要支援・要介護へ移行する人の減少 (要介護認定率)★ | | 16.0% | 16.5% (H26 年度) | ※5 | A | 17.2% (H26 年度) | 以下 | ◎ |

★ 重点的に取り組む内容に関連する目標指標

【現状値の出典】

※1：H28 各種健康診査 ※2：H28 西宮市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導

※3：H28 がん検診 肝炎ウイルス検診 骨粗しょう症検診 ※4：H28 出前健康講座（女性特有のテーマ）の実績

※5：H26 西宮市高齢者福祉計画・西宮市介護保険事業計画

【策定時との比較】

策定時の値と直近の値で有意差検定を実施し、その結果に基づき「A：改善している」「B：変化なし」「C：悪化している」と評価

【中間目標値の達成状況】

達成状況は有意差検定を実施し（有意水準 5%）、その結果に基づき、「◎：目標値を達成した項目」

「○：目標値を概ね達成した項目（数値は達成しているが有意ではない）」「△：目標値を達成していない項目」と評価

2. 中間評価の結果まとめ等

統計等諸指標や健康指標の進捗状況から課題を整理します。

平成 34（2022）年度の最終目標値に対する進捗をみると、「達成した（◎）」が「タバコ」で 1 項目、「歯・口腔の健康」で 3 項目、「健康診査と健康管理」で 1 項目の合計 5 項目、「概ね達成した（○）」が 4 項目となっています。

評価した健康指標 103 項目のうち、計画策定時（ベースライン）から「改善」が 26 項目、「変化なし」が 59 項目、「悪化」が 18 項目となっています。

分野別にみると「歯・口腔の健康」で改善した項目が多く、「タバコ」「健康診査と健康管理」で悪化した項目が多くなっていました。

■ 進捗状況

| 分野 | 策定時（H23 年度）からの変化 | | | 目標達成項目 | |
|-----------------------------|------------------|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | 改善 (A) | 変化なし (B) | 悪化 (C) | 達成 (◎) | 概ね達成 (○) |
| (1) 栄養・食生活 | 1 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| (2) 身体活動・運動 | 3 | 6 | 0 | 0 | 1 |
| (3) こころの健康 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| (4) タバコ | 4 | 22 | 6 | 1 | 1 |
| (5) アルコール | 0 | 10 | 1 | 0 | 1 |
| (6) 歯・口腔の健康 | 11 | 6 | 0 | 3 | 1 |
| (7) 健康診査と健康管理 ^{※1} | 6 | 3 | 9 | 1 | 0 |
| 重点項目に係る指標 ^{※2} | 10 | 24 | 12 | 1 | 2 |
| 合 計 | 26 | 59 | 18 | 5 | 4 |

※1：平成 29 年度を目標とする指標が 4 項目あり、それらは「策定時からの変化」のみを評価し、「目標達成」を評価していない。

※2：重点指標は各分野に含まれるため、合計には含まない。

【達成状況の評価方法】

(1) 策定時からの比較（ベースラインからの変化）

指標に位置づけられた項目について、設定時の値（ベースライン）と直近の値（平成 28 年度調査）で有意差検定をし（有意水準 5%）、その結果に基づいて判断しています。A：改善 B：変化なし C：悪化

(2) 目標値の達成状況

達成状況は有意差検定を実施し（有意水準 5%）、その結果に基づいて判断しています。

◎：目標を達成 ○：目標を概ね達成（数値は達成しているが有意ではない）

| 主な改善点・良い点 | 悪化した点・より改善が必要な点 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ➤ 西宮市民の平均寿命と健康寿命は兵庫県や全国と比べて長い。 ➤ 全国・県と比較し、自殺者数が少ない。 ➤ 悪性新生物による死亡状況が改善した。 ➤ 喫煙率が低下した。 ➤ 「3歳」「12歳」で歯のない児童が増加した。 ➤ 年に1回以上、歯の定期健（検）診に行く人が増加した。 ➤ 定期的な歯石除去や歯面清掃に行く人が増加した。 ➤ 歯磨きの歳に清掃補助用具を使用する人が増加した。 ➤ メタボリックシンドロームの該当者が減少した。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 性年齢別の自殺者数をみると男性の40～50代の自殺者数が多い。 ➤ 若者の自殺者数は少ないものの、10～30代の死因の第1位が自殺となっている。 ➤ 小学生の肥満が増加した。 ➤ 成人の肥満者が増加した。 ➤ 糖尿病有病者・予備群が増加した。 ➤ 高血圧症有病者が増加した。 ➤ 不眠を感じる人がよくある人が増加した。 ➤ 喫煙によるCOPDや胃潰瘍に係る理解が低位である。 ➤ 未成年者の飲酒が身体・精神発育に与える影響に係る理解が低位である。 ➤ がん検診受診率が低位で推移している。特に女性の受診率が低い。 ➤ 骨粗しょう症検診の受診率が低下した。 ➤ 女性特有の健康講座の参加者数が少ない。 |